

No.	026	—	1022	事務事業名	議会広報補助事務			細事務事業名					公的関与	8	
PLAN	課 名	議会事務局		係 名	庶務係		電話番号	089-964-4422		メールアドレス	gikaijimu@city.toon.ehime.jp				
	事業区分	ソフト事業			事業運営方法	一部委託		実施計画	非該当	事業期間	平成 17 年度	～	期間設定なし		
	総合計画	政策目標	第5章 みんなでつくる協働・自立のまち			政策項目	4 市民と行政との協働のまちづくりの推進			主要施策	(2) 広報・広聴活動の充実				
	事業の対象	市民						根拠法令	東温市議会だより発刊編集方針						
	事業の目的	最終的	開かれた議会を目指し、議会自らが議会活動等の情報を発信することにより議会の活性化を図ります。					今年度	議会活動等を周知するため、様々な世代の方が読みやすい広報の作成に取り組みます。						
	活動内容	①	「とうおん議会だより」の発行（A4版、16頁、13, 200部、年4回：定例会の翌々月1日）					④	議会だより編集委員会（委員8人、選任：議長指名、任期：1年）を設置し、委員自らが原稿作成						
		②	市広報誌と同時に市内全世帯（組加入世帯）に配布、市内の公共施設に閲覧用として配布、県内他市議会・市内金融機関・市内企業・報道機関に送付					⑤							
		③	市ホームページで公開												
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位		平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	最終目標			
		議会だよりを配布している世帯の割合		配付世帯数÷市内全世帯数 ※配付世帯数＝組加入世帯数 ※世帯数基準日：4月1日			%	目標	100	100	100	100			
実績									67	66					
						目標									
							実績								
						目標									
							実績								
DO	予算費目	会計	一般会計				費目名	議会				費			
	直接事業費		平成 30 年度決算		令和 元 年度決算		令和 2 年度予算		備 考						
		国・県支出金	0 千円		0 千円		0 千円								
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円								
		その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円								
		一般財源	796 千円		1,148 千円		1,496 千円								
		計（A）	796 千円		1,148 千円		1,496 千円								
	人件費（B）	正職員工数・経費	0.201 人	1,232 千円	0.201 人	1,254 千円	0.201 人	1,255 千円							
		臨時職員工数・経費	0.606 人	1,203 千円	0.606 人	1,204 千円	0.606 人	1,202 千円							
	全体事業費（A＋B）		3,231 千円		3,607 千円		3,953 千円								
CHECK・ACTION	一次評価者	庶務係		総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
	項目	評 価 項 目 の 説 明 （一次評価者のコメント）													
	必要性	現状では、市民が議会を傍聴するか、もしくは会議録を閲覧（HPでの議会中継の視聴・会議録検索を含む）しない限り、議会活動を知る手段がないことから、周知を図るために議会だよりの発行については必要性があります。													
	有効性	議会だよりの掲載記事やレイアウト等内容の検討を重ねることで、成果向上の余地があります。現在のところ類似している事業はありませんが、今後、市広報誌との連携等の可能性について検討する余地があります。													
	達成度	市広報誌発行と同様、議会だよりも市内の組加入世帯全戸に配布しています。近年、組加入世帯率が低下傾向にあることから、議会だよりを含めた各種行政情報の発信方法について、検討する必要があります。													
	効率性	新しいメディアを活用しても、利用者は限定されるため、広く周知を図るために今後も紙媒体での広報誌の発行は必要と考えます。													
	当面の課題	若い世代の方にも読みやすく、分かりやすい広報誌の作成に努める必要があります。													
	改革計画	専門用語を日常の言葉に置き換えるなどして、やさしい簡潔な文章にするとともに、レイアウトの見直しや図・表・写真・絵の積極的な活用に努め、様々な世代の方が読みやすく分かりやすい紙面の作成に取り組んでいきます。													
	二次評価者	議会事務局長		総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項		現状にとどまることなく、より読みやすく、分かりやすい広報誌とするため、他市町の事例も研究しながら、改善していく必要があります。													